

平成 17 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 奥 田 啓 二  
 ( J A S D A Q ・ コ ー ド 8 7 4 0 )  
 ( 問 合 せ 先 ) 経 理 部 長 新 堀 博  
 電 話 0 3 - 3 2 0 9 - 5 5 0 0

平成 18 年 3 月期中間(連結・単独)業績予想の修正について

平成 18 年 3 月期中間(連結・単独)業績予想について、平成 17 年 5 月 19 日付当社「平成 17 年 3 月期 決算短信(連結)」及び「平成 17 年 3 月期 個別財務諸表の概要」で発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間(連結・単独)業績予想の修正

( 1 ) 連結中間業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 ( A )	1,983	410	225
今 回 修 正 ( B )	1,737	91	17
増 減 額 ( B - A )	246	319	208
増 減 率	12.4%	77.8%	92.4%

【ご参考】

	営業収益	経常利益	中間(当期)純利益	
前期実績	平成 16 年 9 月中間期(連結)	2,267	526	293
	平成 17 年 3 月期通期(連結)	4,406	857	486
平成 18 年 3 月期通期業績予想(連結)		3,966	820	450

(注)通期業績予想(連結)は 5 月 19 日付決算短信(連結)で発表した業績予想と変更ありません。

( 2 ) 単独中間業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 ( A )	1,433	266	151
今 回 修 正 ( B )	1,385	129	63
増 減 額 ( B - A )	48	137	88
増 減 率	3.3%	51.5%	58.3%

【ご参考】

	営業収益	経常利益	中間(当期)純利益	
前期実績	平成 16 年 9 月中間期(単独)	1,592	264	153
	平成 17 年 3 月期通期(単独)	3,108	389	238
平成 18 年 3 月期通期業績予想(単独)		2,866	532	303

(注)通期業績予想(単独)は 5 月 19 日付個別財務諸表の概要で発表した業績予想と変更ありません。

## 2. 修正理由等

値動きが激しかった石油市場の取引減少や改正商品取引所法（5月施行）による勧誘規制の強化などで、全国商品取引所の当中間期の出来高合計が前年同期比 26.1%減と大きく落ち込むなか、当社グループの当中間期の商品先物取引（受託業務）に係る受取手数料は、貴金属市場や農産物市場においては前年同期比増収を確保できたものの、石油市場が大幅な減収となり、合計では 1,287 百万円（前年同期比 22.5%減）となる見込みであります。

また、商品先物取引（自己売買業務）の売買損益についても石油市場の売買益の大幅な減少により 383 百万円（前年同期比 32.7%減）にとどまり、営業経費の削減が計画より遅れたことも加わって、当中間期の連結業績は、連結営業収益 1,737 百万円（前回予想比 12.4%減）、連結経常利益 91 百万円（同 77.8%減）、連結中間純利益 17 百万円（同 92.4%減）と予想業績を下回る見込みであります。

なお、当社単独の業績につきましても、営業収益 1,385 百万円（前回予想比 3.3%減）、経常利益 129 百万円（同 51.5%減）、中間純利益 63 百万円（同 58.3%減）と業績予想を下回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、下期には新たな環境下での営業体制が定着してくることに加えディーリング要員育成等の効果も表れてくるものと考えており、また、当社グループの業績は市況等の影響を受け四半期毎又は半期毎では大きく変動するため、当初の予想を修正せずその達成を目指していく方針であります。

以 上